

第2章 将来都市像・まちづくりの目標

第1 将来都市像

前述した課題を踏まえ、県民生活の視点から埼玉の目指すべき将来都市像を示します。

**埼玉の将来都市像「みどり輝く 生きがい創造都市」
～暮らし続けるふるさと埼玉～**

- (1) **暮らしやすく、ふるさととして愛着のもてる都市^{まち}**
 - ・ 仕事帰りにオシャレな店で買い物が楽しめるなど、多くの人で中心市街地がにぎわっている。
 - ・ 都市と都市、都市の中心部と郊外部を結ぶ鉄道や道路、バスなどが充実して便利であり、誰もが外出を楽しんでいる。
 - ・ 身近なところに病院や福祉施設、子育て施設が充実しており、人々がふれあいながら暮らしている。

- (2) **誰もがいきいきと働いている元気な都市^{まち}**
 - ・ 充実した交通網や豊富な人材など埼玉の強みを最大限に生かして、国際的にも競争力が高く、日本経済を牽引する産業が集積されている。
 - ・ 身近なところに誰もが自分の能力を生かせる働き場があり、いきいきと働いている。

- (3) **地域の営みが未来につながる都市^{まち}**
 - ・ 街道や史跡、伝統文化など先人達が培ってきた地域固有の財産が保存・再生されて、美しい景観を形成し、まちのブランド力が高まっている。
 - ・ 田園地域では、雑木林や田畑が広がり、川には澄んだ水が流れ、子供達は自然とふれあいながら育っている。
 - ・ 住宅地のみどりや街路樹などが豊富で、道路・建築物や公共交通などの効果的な利用が進むなど、環境に優しい持続可能な都市となっている。

第2 まちづくりの目標

将来都市像を実現していくためのまちづくりの目標を示します。

(1) まちづくりの目標1：コンパクトなまちの実現

- ・ 駅周辺など地域の中心となる市街地は、人々の暮らしを支える場、交流の場として、本来持つべき都市機能を復活・充実させます。
- ・ 市街地における医療・福祉施設を充実させ、高齢者など誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。
- ・ 高齢者をはじめ誰もが自由に移動できるよう、使いやすい都市交通環境の整備を進めます。
- ・ 公共交通の利用促進やみどりの創出など、省CO₂型の持続可能な都市を目指します。
- ・ 県民が安全に暮らせるよう、都市の防災機能を高めます。

(2) まちづくりの目標2：地域の個性ある発展

<プラス1のまちづくり>

- ・ 地域の特性や資源を磨いて地域の価値を高め、活力ある地域づくりを進めます。
- ・ 人々の出会いと交流の場を創り、にぎわいのある都市を創ります。
- ・ 歴史や文化を生かし、新たな発見のある、訪れたいと感じる都市を創ります。
- ・ 美しいまちなみ景観を創造し、住みたいと感じる都市を創ります。

<産業応援まちづくり>

- ・ 雇用の場を確保し、地域の活力を高めます。
- ・ 充実した高速道路網や地理的な優位性を生かし、戦略的に産業を集積します。

(3) まちづくりの目標3：都市と自然・田園との共生

- ・ 「都市の利便性」と「田園のゆとり」を享受できる魅力的な都市を創ります。
- ・ 「都市とみどり」、「都市と川」、「都市と田園」が共生した多彩な田園都市を創ります。
- ・ 都市の身近に残る豊かな自然や田園を貴重な財産として守り、生かしていきます。